令和6年度 食育推進会議議事録

- (1) 日時 令和6年9月12日(木) 19:00～20:30
(2) 場所 佐世保市中央保健福祉センター 8階講堂
(3) 出席者

【委員】 13名

(会) 松尾委員	(副) 大河内委員	川野委員	田中委員	豊村委員
田雑委員	立木委員	谷川委員	山口委員	川崎委員
川本委員	石井委員	山崎委員		

【事務局】 9名

保健福祉部	辻部長			
健康づくり課	前川課長	中島補佐	辻村係長	志方
	辻	湯田	村上	久保

【食育推進検討委員】 12名

農政課	卸売市場管理事務所	水産課	人権男女共同参画課
長寿社会課	生活衛生課	食肉衛生検査所	保育幼稚園課
すこやか子どもセンター	廃棄物減量推進課	学校保健課	社会教育課

(4) 開催目的

第4次佐世保市食育推進計画に基づく、食育推進実施プランの進捗管理について、調査審議する。

また、令和7年度実施予定の「佐世保市食育に関するアンケート調査」概要について説明し、今後のスケジュールについて共有する。

(5) 議題

1. 第4次佐世保市食育推進計画の概要について
2. 第4次佐世保市食育推進計画食育推進実施プランの令和5年度進捗状況について
3. 第4次佐世保市食育推進計画食育推進実施プランの令和5年度実施計画について
4. 次期佐世保市食育推進計画策定に係るアンケート調査概要について

(6) 会議内容

【松尾会長】

それでは私の方で議事進行させていただきます。皆さん改めましてこんばんは。まだまだ猛暑が続いている中で、予報の上では2ヶ月を超える猛暑日になっているようです。体力の限界で、こういった時こそ本当に食事というのが健康を支える上では大事なんだなあ。

特に夏バテ予防には夏野菜を摂るとか、先人の知恵をしっかりと今に引き継いでいくということが、本当に食育の活動の中で重要なことではないかなと思っています。

そういった意味で本日も昨年度の活動状況や今年度の実施計画について事務局の方から説明いただきますが、委員の皆様のご所属団体の活動などについても活発なご意見をお聞かせいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速議事に移りたいと思います。会次第によりますと本日は議事として4つ用意されているようです。

まず議題1、第4次佐世保市食育推進計画の概要について、事務局からの説明をお願いいたします。

【事務局：健康づくり課 久保】

第4次佐世保市食育推進計画冊子および概要版を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま、第4次佐世保市食育推進計画の概要について説明がありました。委員の皆様からのご質問等ございませんか。

特に今回から委員にご就任いただきました皆様におかれましては、幅が広く、理解していただくのに、ちょっと時間がかかるかと…。食育というのはそういったもので幅が非常に広いので、今、委員の皆様がご活動いただいている立場で、その切り口で見ていただくというのが一番適切ではないかなと思います。そういった面で何かお気づきの点がありましたら、ご意見いただければと思います。

この後もまた、昨年度の実施状況や、今年度の計画について報告がありますので、そういった中でも、この概要について何かご意見があれば、ご発言いただければと思います。

それでは次の議題2に移らせていただきます。第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和5年度の進捗状況について、事務局からの説明をお願いいたします。

【事務局：健康づくり課 久保】

資料1、当日配布資料を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま、第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和5年度の進捗状況について説明がありましたが、委員の皆様からのご質問等ございませんか。川野委員、お願いいたします。

【川野委員】

先ほどの事前質問への回答ありがとうございました。それでもう少しお伺いしたいのですが、本学のSNSを使った投稿ということによろしいでしょうか。

本学科のインスタとかではなく、本学の総務課とか、そういったところを通してということによろしいでしょうか。私たちが学校の記事をすべては把握できてないと思うので、その辺を教えていただければと思います。

【事務局：健康づくり課 久保】

ご依頼をしたのは総務課の方にご依頼をさせていただいています。健康栄養学科の方でSNSのアカウントを持っていらっしゃるからお聞きしてはいるのですが、そこで発信をして頂いているわけではなく、学内の共通のツールの中で発信をしていただいているところかなと思います。

【川野委員】

はい。わかりました。SNSなのでインスタであると思ってしまったんですが、学内の学生が使う情報共有ツールを使ってということですね。

【事務局：健康づくり課 久保】

はい。

【川野委員】

実際にこの記事の一部見たことがあるなと思います。理解できました。ありがとうございます。

【松尾会長】

他にご意見・ご質問等はございませんか。事務局の方からは、外部機関との連携ということで、いろいろな団体と関わりを持ちながら、食育は単独ではできませんので、そういった意味では多くの団体とも今後連携が必要になってくるかと思います。もし、現在所属されている団体で、こういった事業をしてるよとか連携など何かできるものがあればご提案いただいてもよろしいかと思えますけれども、いかがでしょうか。

では、次が令和6年度の実施計画になりますので、そこまで説明をいただいてから、また全体でご意見をいただければと思います。

それでは次の議事に移らせていただきます。第4次佐世保市食育推進計画に掲げる食育推進実施プランの令和6年度の実施計画について、事務局の方から説明をお願いいたします。

【事務局：健康づくり課 久保】

資料2、当日配布資料を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま、令和6年度の実施計画について説明がございましたが、委員の皆様からご意見、ご質問などございませんか。谷川委員お願いいたします。

【谷川委員】

幼稚園協会の谷川です。事業番号49番（食のリサイクル）の件です。幼稚園・保育園合わせて約80園、小学校・中学校入れると100校以上あるのに、5回は少ないんじゃないのかなと思まして。また、こういう取組があるっていうのも知らない園もあるんですね。どういうふうに周知されているのか、その辺をお聞かせいただきたいなど。

【松尾会長】

事務局の方からお願いいたします。

【事務局：廃棄物減量推進課 草野課長】

周知についてはホームページや「させぼエコラボ」、あとは出前講座のメニューにも載せていただいて、その部分で周知啓発をしている次第です。

【谷川委員】

これに関しては子どもたちに良い機会だと思うんですよ。それを幼稚園・保育園には周知しない。ホームページでやってるというふうなことで、やっぱり知らない方、知らない園が多いんじゃないかと。

小学校・中学校見れば本当100以上の学校、幼稚園等があるんですけど、それを知ることによって5回以上できるんじゃないかなと思うんですよ。

子どもたちは、やはり（食事を）残したらどうなるかっていうのをわかりません。どうなってるのか、廃棄処分してるのかじゃなく、リサイクルに回すっていうことを子どもたちに教えるいい機会じゃないのかなと思って。周知の仕方、また回数、派遣が5回、これも少ないんじゃないかなと、もっと多くできるんじゃないかなと。

畑を持っている幼稚園・保育園結構あります。そこでどういうふうに畑をすればいいのという部分も含まれるんじゃないかなと思うんですけど。

今の説明だと、何かやる気がないようなふうに見えたんですけど、どうでしょうか。

【事務局：廃棄物減量推進課】

やる気がないというわけではありません。コロナの部分で、コロナ禍明けてから、回数等も増やそうとは思ったんですが、まずコロナ禍で回数制限がかかりました。その後、啓発等を幼稚園とか、保育園等々にしておりませんでしたので、今後はそういうところに対してさせていただきたいと思います。

谷川委員がおっしゃったように、自分が啓発させていただいて、「もったいない」とか、「食の大切さ」という、大切にさせていただくという部分で食品ロスを減らしていただくという部分にもつながりますし、今後改めていきたいと思います。

【松尾会長】

ありがとうございました。せつかくのこの食育推進会議でこういった情報が共有できるというのは1つのおおきな組織間の連携になるのかなと思いますので、ぜひ行政の方からも有効な情報を各団体の方に適切にご周知いただければと思います。よろしくお願いいたします。他にご質問ご意見ございませんでしょうか。川崎委員お願いいたします。

【川崎委員】

佐世保市青少年育成連盟の川崎です。いくつか気になる点を質問させていただきたいのですが、一番気になりましたのは幼児教育センターでの取り組みが、3つ今回廃止になり、その後の代替事業も予定されてないとのことで、やはり幼児教育センターとなると、「親子何

とか」というような、就学前の子どもさん、そして保護者の方々が参加することが多いのかなと思ひまして、3つの事業が廃止になるということが非常に気になったんですが。

他は比較的継続というところが多いようですので、幼児教育センターが3つ一週に廃止というのは何か理由があるのかなと気になりました。

【松尾会長】

ただいまの質問に対して事務局の方から、ご回答をお願いいたします。

【事務局：幼児教育センター 花野次長】

幼児教育センターの事業の見直しというふうなところで、幼児教育センターでは職員の研修会とか、講座などを主に実施しております。定期的に内容を見直したり、新たな研修会・講習会を実施しております。

先ほどの、親子の食育に関する講座などは、参加者数が少なくなっているのが現状で、どうしてかと言うと、今3、4、5歳のお子さんは特に、ほとんど保育園・幼稚園に就園にされています。最近の保育料が無償化になったということも大きい要因なんですけど。そういったところで、なかなか親子と一緒に幼児教育センターに出向くというような機会が少なくなったということもあるのかなと思ひます。

代わりに、YouTubeなどで、動画で見ることができるような形の方が、一番お父さんお母さんにとってもいいかなと思ひまして、動画の配信を新たにやっているところです。

【川崎委員】

ありがとうございます。幼児教育センター、実は私の住まいがある校区にありまして、普段からその様子は拝見しております。スピカの活動などと合わせまして、何というか、男性お父さんたちも家事・育児・食育に巻き込んでいこうというような流れがあったように思ひますけれども、そういったことへの参加が難しいのかなというように感じていたものですから、今回廃止になっており、もったいないなというような感じも受けておりました。

また、熱心に子供と一緒に食を考えていこうというご家庭におかれては、あまり食育は心配してないですが、そうではない家庭の方々をいかに巻き込んでいくのかということが、いろんな施設、特に、調理設備がある施設の活用なんかがもう少し進むといいなと普段から思ひしております。以上でございます。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいまの川崎委員のご発言に関して会長である私が発言するのも申し訳ないですけども、やはり私も他に質問がなかったら、この中止の理由については、もう少し確認をしたかったところです。

というのが、やはり今、コロナ禍で対面の調理実習に、参加をしぶられているという現状があった中で、多分今年ぐらいからそのあたりが大分復活してきているのかなとは思ひていたんですが、そういった中で参加者が減っているという現状ですが、本当にニーズがないのか。

逆にもう1つ事業廃止にされています、学校保健課の事業番号30（子ども期歯科保健研修会）ですが、これはおおよそ改善の見込みがあるということで、ここは理由をお聞きしても、

確かにむし歯というのかなり減ってきていて、これは歯科医師の先生方が積極的に取り組まれた結果かなと思います。なので中止の理由はわかるんですが、幼児教育センターの廃止になっている事業が「親子の触れ合いの機会を作る」、それも「食を通して作る」という、本当に生活の基本になるところではないかなと思います。先ほど言われました動画というのももちろん大事だと思うんですが、動画だとどうしても平面上のつき合いでしかなく、今週末、本学でも食物アレルギーの講座をやるんですが、そういった時に、他の親子の関係を見る、他の子どもの調理の姿を見る、自分の子どものまた違った一面を見ることができるといのは非常に今後の育児にとって、有意義なものになるのではないかなと思いますので、そういった意味で今回3つも中止になっているというのが、非常に難しい、予算的に、市としてもどこか削らなきゃってなった時にはこういったところから削られるのかなというのが、少し寂しい思いがしました。できれば今後こういった食育の会議もありますので、必要な事業なんだということで、ぜひ復活とか、もしくは再考していただいて、事業の展開を図っていただければと思います。

会長の私がこういう意見を言うのはどうかと思うんですけど、非常に気になったところでしたので、発言をさせていただきました。

【川崎委員】

コロナ禍で、いろいろ食に関する、特に調理実習みたいなことが難しくなっているということは確かだと思います。私どもも放課後子ども教室、社会教育課さんにご指導頂いて、実施しております。食生活改善推進員さんにも以前お世話になって、ずっと調理実習などもしてきたんですが、やはりこの数年はお休みをしてきております。

ただ、子供たちはみんなでご飯を作ったりおやつを作ったりして食べるということはすごく大好きで、希望を取るとお菓子づくりをしたいとか、何かそういうのが必ず出てきます。

ですので、頃合を見て私どもは復活をさせていきたいなと思っている事業の1つで、特に食育ということでは、子どもたちが自分自身で自分が食べるものを作ることができるというのはこれからの社会情勢などを見て、子供食堂などのニーズはあって、子供がちゃんとご飯を食べるというようなことが自分の力でできるっていうようなことを育てていくきっかけは、ぜひ何か作っていただけたらなと思っているところです。私ども育成会の方でもいろいろ、また話し合いなども行っていきたいと思います。以上でございます。

【松尾会長】

ありがとうございました。事務局の方からはよろしいですか。こちらからの意見を言わせていただきましたけど。

【事務局：健康づくり課 久保】

健康づくり課久保です。ご意見ありがとうございました。

健康づくり課は全市民の健康づくりを対象にしていますので、子どもへの食育についても取り組んでいるところではありますが、私たちだけではどうしても手の届かない範囲などもありますので、そういった際には、特に健康づくり課としては食生活改善推進協議会の皆さんにご協力をいただき、市の委託事業として、食生活改善推進協議会に子どもたちへの料理

教室なども開催していただいているところです。

コロナ禍をはさんで、実施回数も減ってきてはいる状況ですが、今後また回数を増やしていけるように、内容の充実などを図っていきたいと思います。以上です。

【松尾会長】

ありがとうございました。それでは他にご意見、ご質問などございませんでしょうか。

それでは最後の議題に移らせていただきます。次期佐世保市食育推進計画策定に係るアンケート調査の概要について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局：健康づくり課 久保】

第4次佐世保市食育推進計画冊子、資料3を用いて説明。

【松尾会長】

ありがとうございました。ただいま次期計画の策定に係るアンケートの調査概要について説明がございました。委員の皆様の方から、ご意見やご質問ございませんでしょうか。

実際の事業の評価になるアンケートですので大幅に内容を変えることは難しいということでしたけれども、次の計画につながる基礎資料を得るアンケートにもなりますので、また、何かお気づきの点など、こういった項目が必要なんじゃないかということもございましたら、ご意見をいただければと思いますが。

またアンケートに関しては、次の次期委員が会議の中でも検討していくことになるかと思っておりますのでまた引き続きご協力のほどよろしくをお願いいたします。特にご意見がなければ、よろしいでしょうか。

それでは、そろそろ終了の時間も迫って参りましたので、本日の議論はここまでにさせていただきます。限られた時間の中で、また昨年度の事業と今年度の計画についての委員の皆様からの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

やはり食育というものは、コロナであってもコロナが明けても、どんな状況でも進めていかなければいけないものです。やはり人が直接会って、やりとりしていく、会話は電話でできますけれども、食事というのは対面で食べること、そこでコミュニケーションもとれるものかと思っておりますので、そういった「会う」ことの大切さとかですね、そういったところをまた見直しながら、この食育活動をどんどん進めていっていただければと思います。

それでは本日の会議はここまでとさせていただきます。委員の皆様、全員にご発言いただけて大変申し訳ございませんでした。また今後とも、食育の推進に関して、よろしくをお願いいたします。

それではその他、皆様から何かお知らせ等ございましたら、お願いいたします。事務局からお願いします。

【事務局：健康づくり課 前川課長】

健康づくり課、前川です。その他の事項ということで、ちょっと議題にはありませんが、お知らせとご報告です。冒頭で、部長からもありましたが、心配なデータがありますと記載されているカラーの資料をご覧ください。

1枚ものは概要版、それから、綴ってあるのが詳細版となっています。今回、「働く世代の健康増進プロジェクト」ということに対しまして、本市の健康に関します主なデータを集約したチラシになっています。

1枚ものの裏面にはご覧の通り、長崎県は野菜の摂取量が全国ワースト1位ということで、不名誉なデータがそろっています。

市民の皆様にもこの悪いデータをお示しして、知っていただくことで、特に働く世代である30代から50代という方を対象に行動変容を促すということを目的に今年度、保健福祉部の中で横断的にチームを作って、自前で作成したものです。

詳細版の2ページ目を例に挙げてご説明しますと、野菜編ということで、上段に目標量、左側に現状、右側に目標の実現に向けた取り組み内容ということに記載しています。野菜編を含め、全5項目で構成しておりまして、野菜で言えば、右側の目標のところは、1日の野菜摂取量350グラムということですけど、ふつう350グラムと言っても皆さんには、ちょっとわかりづらいこともあるので、1皿70グラム程度の小鉢料理にして、1日5皿分。あと、両手のひらに山盛り3杯分というのが、大体の目安量ということで広報していこうかと思っております。

このチラシ自体が今週完成したばかりで、これから各団体とか、あと市内の事業者の皆様などへ提供して、有効に活用していただきたいと思っております。今日ご参加の皆様におかれましても、もし機会がございましたらデータもありますので、ご活用いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

また今回、この取り組みをしている中で、同時に広報させばでも、先ほど部長が言いましたように、10月号で野菜不足に関する記事が4ページ、特集で掲載されることになっております。

この記事では、食の専門家の立場から本推進会議の会長であられる、松尾会長からも寄稿していただいております。広報させば10月号につきましても、ぜひ皆さんにご覧いただきたいと思っております。事務局からの報告は以上でございます。

【松尾会長】

皆様のご協力で、会議が滞りなく終了いたしましたことを感謝申し上げます。
それでは、事務局へ進行をお返しいたします。

【前川課長】

松尾会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、本日はお忙しい中長時間にわたり、ありがとうございました。本日も貴重なご意見をいただきましたので、今後の事業に生かしていきたいと思っておりますので、引き続き食育の推進に向けてですね、ご協力をいただきますようお願いいたします。

また来年度は、議題でもありましたように、最終評価、それから次期計画の策定というところが待っておりますので、市民アンケート調査の内容等について、ご意見を賜りたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和6年度佐世保市食育推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。